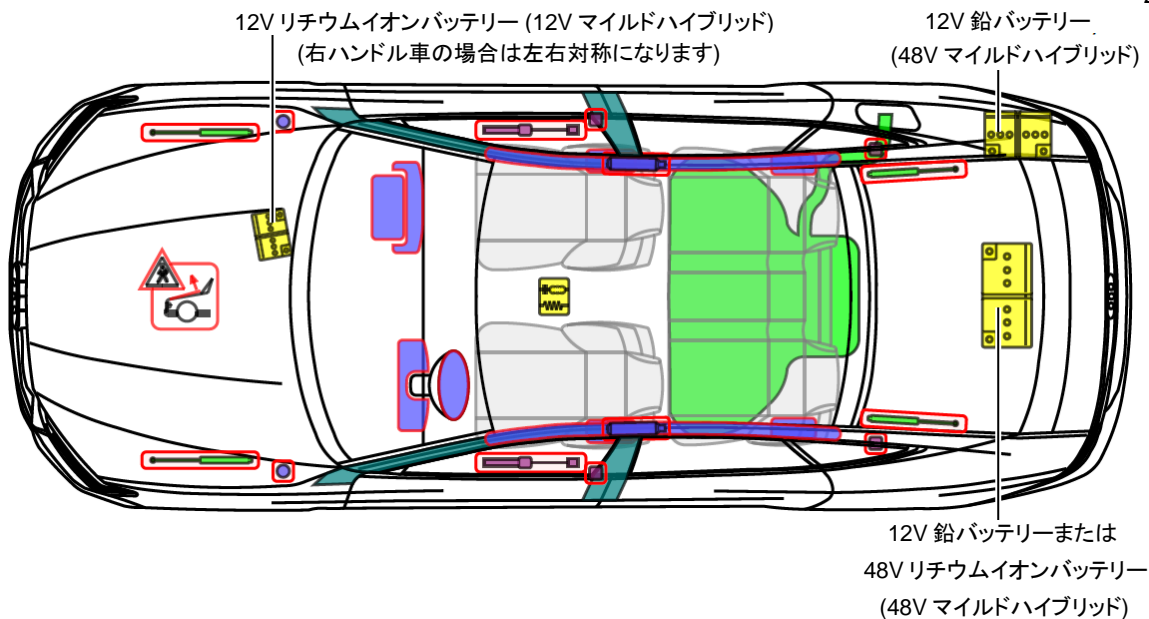


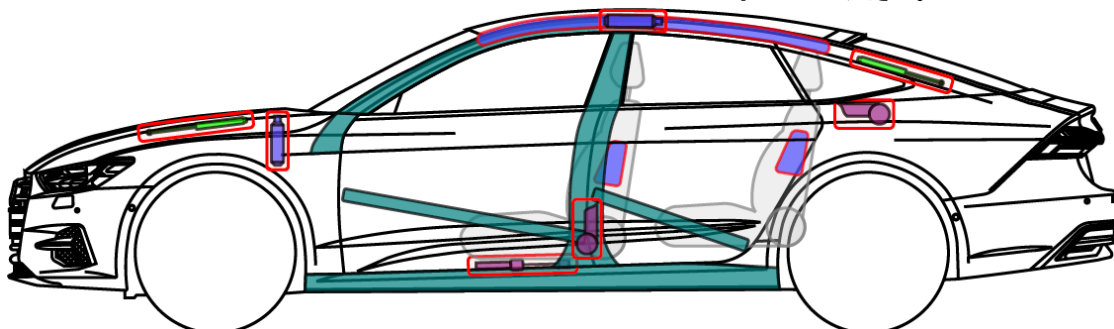


▶ Audi A7 / S7 / RS7 Sportback 注:EU 仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある

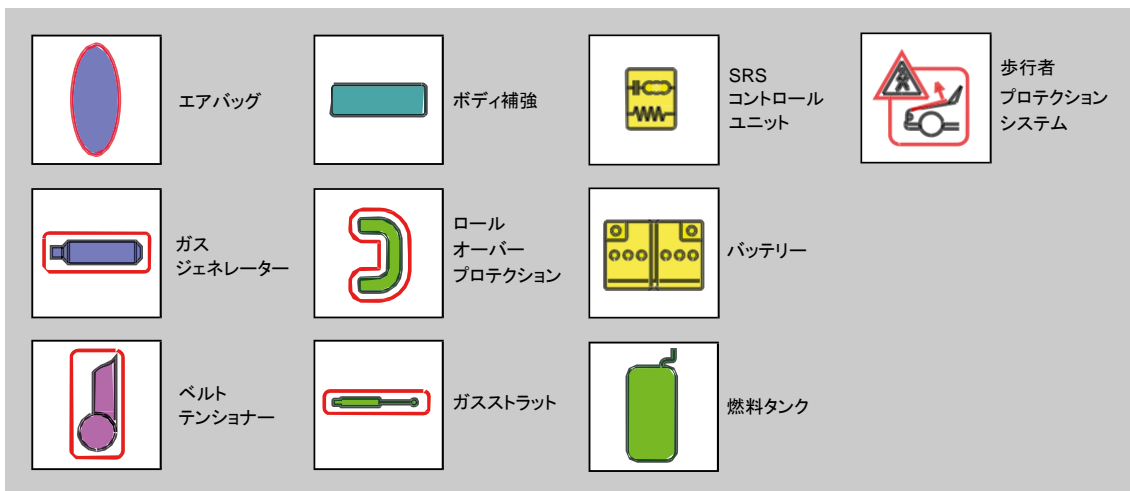
2018 年以降



**!** 警告 48V:アーク放電が発生するおそれがあります。  
48V バッテリーを外す前にイグニッションスイッチを  
オフにしてください。

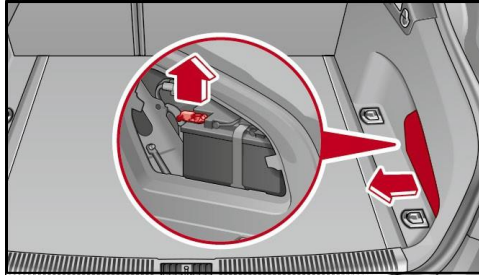


システム配置図



### 12V 鉛バッテリー

- バッテリーカバーを取り外す。
- 12V バッテリーのマイナス側端子を外す。



### 48V リチウムイオンバッテリー

⚠ エアバッグが展開するような事故が発生すると、48V リチウムイオンバッテリーが自動的に遮断されます。

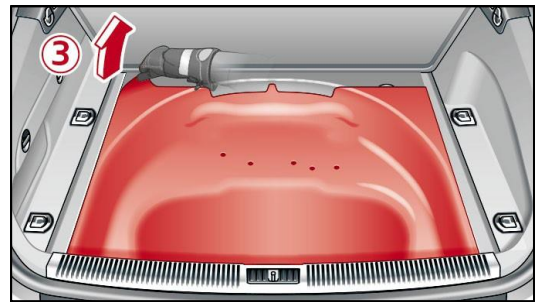
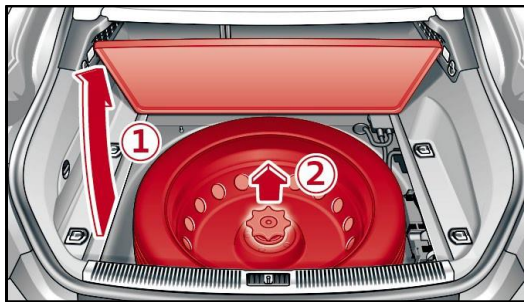
いかなる場合においても、車両の供給電圧を遮断するためには、12V 鉛バッテリーに加えて 48V リチウムイオンバッテリーを個別に遮断する必要があります。

⚠ 警告! 48V でのアーク放電による危険

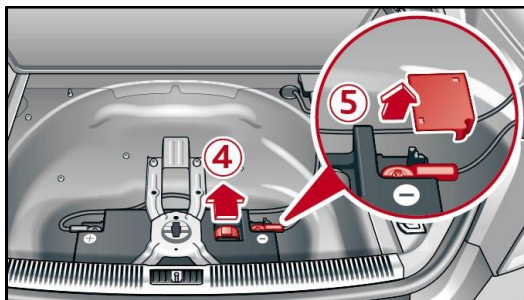
⚠ 48V バッテリーを外す前にイグニッションスイッチをオフにしてください。

アーク放電によるリスクを最小限に抑えるために、以下の手順でバッテリーを遮断することを推奨します:

1. ラゲージルームからフロアパネルを取り外す。
2. スペアタイヤとツールキットを取り外す。
3. 図のようにスペアホイールリセスのライニングを外す。



4. コネクターを外す。
5. 右側の端子カバーを外して、48V リチウムイオンバッテリーのマイナス側端子を外す。





▶ Audi A7 Sportback 12V Mildhybrid 注: EU 仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある

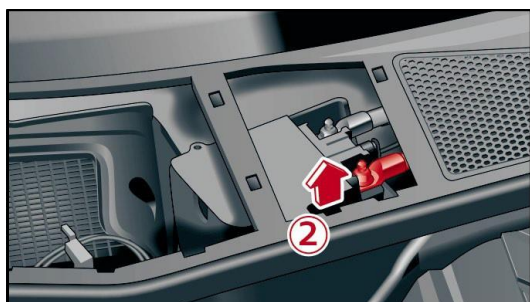
2018 年以降

### 12V リチウムイオンバッテリー

**!** エアバッグが展開するような事故が発生すると、12V リチウムイオンバッテリーが自動的に遮断されます。

いかなる場合においても、車両の供給電圧を遮断するためには、12V 鉛バッテリーに加えて 12V リチウムイオンバッテリーを個別に遮断する必要があります。

1. エンジンルームのカバーを外して、12V リチウムイオンバッテリーに手が届く状態にする。
2. 12V リチウムイオンバッテリーのマイナス側端子を外す。



図は左ハンドル車の例  
(右ハンドル車の場合は左右対称になります)